

エンゼトニン[®]液0.025

Enzetonin Solution 0.025

日本薬局方 ベンゼトニウム塩化物液

承認番号	21000AMZ00393000
薬価収載	1998年3月
販売開始	1998年4月
再評価結果	1982年8月

貯法：遮光、室温保存
使用期限：ラベルに記載

【組成・性状】

1. 組成

ベンゼトニウム塩化物0.025W/V%
添加物としてホウ砂、エデト酸ナトリウムを含有する。

2. 製剤の性状

本剤は無色透明の液で、においはない。
本剤は振ると強く泡立つ。

【効能・効果】 【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01~0.025%溶液を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
腔洗浄	ベンゼトニウム塩化物0.025%溶液を用いる。
結膜囊の洗浄・消毒	ベンゼトニウム塩化物0.02%溶液を用いる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は濃度に注意して使用すること。
- (2) 炎症又は易刺激性の部位(粘膜、陰股部等)に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- (3) 本剤を希釈して使用する場合は、精製水を使用して調製後滅菌処理すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

過敏症 ^{注)}	発疹、瘙痒感等(頻度不明)
-------------------	---------------

注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 人体

- 1) 投与経路：経口投与しないこと。浣腸には使用しないこと。
- 2) 使用時
 - ア. 原液が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
 - イ. 皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。
 - ウ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと(全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。
 - エ. 密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

(2) その他

1) 調製方法

繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤の成分であるベンゼトニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。

2) 使用時

ア. 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落としてから使用すること。

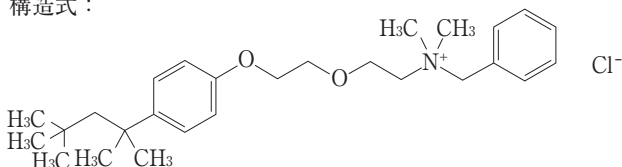
- イ. 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
- ウ. 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。

※【薬効薬理】

本剤は芽胞のない細菌、真菌類に広く抗菌力を持ち、グラム陽性菌には陰性菌より低濃度で効果を示す。一方、結核菌、大部分のウイルス、芽胞に対する殺菌効果は期待できない。グラム陰性桿菌が抵抗性を示す場合がある。ベンザルコニウム塩化物に作用が類似している。

※【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ベンゼトニウム塩化物 (Benzethonium Chloride)
化学名：Benzenemethanaminium,N,N-dimethyl-N-[2-[4-(1,1,3,3-tetramethylbutyl)phenoxy]ethoxy]ethyl-,chloride
分子式：C₂₇H₄₂ClNO₂
分子量：448.08
構造式：



【取扱上の注意】

本剤は滅菌製剤なので、開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。

【包装】

500mL、15L(5L×3)

※【主要文献】

第十七改正日本薬局方解説書 C-5108 廣川書店(2016)

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部
〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10
TEL 03-3381-2004
FAX 03-3381-7728

製造販売元



吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951